科目名（英）	キャリアデザイン （ Career Design ）	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	島滝　美奈子
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	15時間 （1）	開講区分 曜日・時間	1Q 木曜日　1時限

【担当教員紹介と授業の学習内容と心構え】

医療事務の経験を有し、医療現場で得た知識・技術を備えた教員が、ホスピタリティの重要性について教え、社会人として必要な「身構え・気構え・心構え」を身につけるための授業を行う。また、クラスの活動を通じて、他者と協力し取り組むことの大切さを学ぶ。

【到達目標】

自分の目指す業界を理解し、そこで即戦力となる人材をイメージし、そのイメージを持って就職活動に挑む準備をする。
就職活動に必要な履歴書作成や小論文において、国語力を強化し、内定を勝ち取るための効果的な書き方をマスターする。

【使用教科書・教材・参考書】

・講師作成プリント
・就職活動マニュアル

【授業外における学習】

適宜業界研究は行うこと。自分の希望する病院・クリニックが出てきたら、施設の概要等を下調べすると共に、施設見学に参加する。

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 就職試験対策（筆記試験）①一般教養 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 自分が目指す業界を理解し、そこで求められる人財像を考える		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】 就職試験対策（筆記試験）②SPI 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 自分が目指す業界を理解し、そこで求められる人財像を考える		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 国語力強化 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」「国語の知識」を身につけることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 国語力強化 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」「国語の知識」を身につけることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 国語力強化 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」「国語の知識」を身につけることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 小論文対策 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 「読解力」「思考力」「論述力」を身につけ、伝わる文章、効果的な文章の書き方をマスターすることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 小論文対策 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 「読解力」「思考力」「論述力」を身につけ、伝わる文章、効果的な文章の書き方をマスターすることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 試験及び解説 【到達目標】		【評価について】 小テスト（40点満点） 実施方法：ワークシートの提出またはプレゼンテーション 定期試験（60点満点） 実施方法：筆記試験、ワークシートの提出

【特記事項】

科目名（英）	キャリアデザイン（ Career Design ）	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	島滝　美奈子
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	15時間（1）	開講区分 曜日・時間	2Q 集中

【担当教員紹介と授業の学習内容と心構え】

医療事務の経験を有し、医療現場で得た知識・技術を備えた教員が、ホスピタリティの重要性について教え、社会人として必要な「身構え・気構え・心構え」を身につけるための授業を行う。また、クラスの活動を通じて、他者と協力し取り組むことの大切さを学ぶ。

【到達目標】

就職活動に臨むに必要な姿勢・態度を理解し、それらを踏まえて面接に臨む準備をする。

【使用教科書・教材・参考書】

・講師作成プリント
・就職活動マニュアル

【授業外における学習】

適宜業界研究は行うこと。自分の希望する病院・クリニックが出てきたら、施設の概要等を下調べすること。

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 就職活動に向けて 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 就職活動に必要な知識を蓄えることができる。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】 模擬面接会① 【授業形態】 演習 【到達目標】 模擬面接を体験し、実際の面接の状況のイメージをつかむ。 ※リクルートスーツ着用		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 模擬面接会② 【授業形態】 演習 【到達目標】 模擬面接を体験し、実際の面接の状況のイメージをつかむ。 ※リクルートスーツ着用		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 就職面談 【授業形態】 演習 【到達目標】 現段階での就職活動の進捗状況を確認し、今後に向け目標を明確にすることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 就職活動に向けて 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 就職活動に必要な知識を蓄えることができる。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 就職活動に向けて 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 就職活動に必要な知識を蓄えることができる。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 就職活動に向けて 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 就職活動に必要な知識を蓄えることができる。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】		【評価について】 小テスト（40点満点） 実施方法：ワークシートの提出またはプレゼンテーション 定期試験（60点満点） 実施方法：筆記試験、ワークシートの提出

【特記事項】

科目名（英）	キャリアデザイン（ Career Design ）	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	島滝　美奈子
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	15時間（1）	開講区分 曜日・時間	3Q 水曜日　3時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

医療機関において、患者様との対応を通じ、コミュニケーション能力の重要性を理解し、コミュニケーション技術を高めることのできる教員が、社会人として、さらには医療秘書に携わる人材として、社会人基礎力や「身構え・気構え・心構え」を身につけるための授業を行う。
仕事はチームでしていくものである。クラスの活動を通じて、他者と協力して取り組むことを大切にすること。

【到達目標】

目指す業界で活動するために必要な社会人マナーを理解し、理想の社会人像を描くことで、自身の目指す現場に向けてのマインドを高める。

【使用教科書・教材・参考書】

新社会人の基礎力109
Hand-book of Life Style

【授業外における学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 新社会人基礎力① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 社会人としての基礎を身につけることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】 新社会人基礎力② 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 卒業後の社会人像をイメージすることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 新社会人基礎力③ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 組織に属して仕事をする上での決まり事や約束事を理解することができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 新社会人基礎力④ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 自分自身のキャリアパスを考えることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 新社会人基礎力⑤ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 社会人基礎力3つの能力と12の能力要素を理解することができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 新社会人基礎力⑥ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 社会人として遵守すべき規範を知ることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 新社会人基礎力⑦ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 社会人としての自分を守り高めることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】 定期試験・解説 【授業形態】 試験及び解説 【到達目標】		【評価について】 小テスト（40点満点） 実施方法：ワークシートの提出またはプレゼンテーション 定期試験（60点満点） 実施方法：筆記試験、ワークシートの提出

【特記事項】

科目名（英）	キャリアデザイン （ Career Design ）	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	島滝　美奈子
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	4Q 火曜日　2時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

医療機関において、患者様との対応を通じ、コミュニケーション能力の重要性を理解し、コミュニケーション技術を高めることのできる教員が、社会人として、さらには医療秘書に携わる人材として、社会人基礎力や「身構え・気構え・心構え」を身につけるための授業を行う。
仕事はチームでしていくものである。クラスの活動を通じて、他者と協力して取り組むことを大切にすること。

【到達目標】

自分の目指す現場のイメージを深め、自身の将来像を描き、そこに向けての目標設定を行う。そして、2年間一緒に取り組んできた仲間を認め合い、評価する。

【使用教科書・教材・参考書】

新社会人の基礎力109
Hand-book of Life Style

【授業外における学習】

2年間一緒に学んできたクラスメイトを改めて理解を深められるよう、それぞれを良く見るようにして欲しい。

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 他者理解① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他者を理解する（クラスメイトの良いところを伝える）		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】 他者理解② 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他者を理解する（クラスメイトの強みを理解し、目指す現場に向けてアドバイスを送る）		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 他者理解③ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他者を理解する（クラスメイトの強みを理解し、目指す現場に向けてアドバイスを送る）		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 将来像を考える① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 医療秘書・医療事務業務を通して、自分がどのように成長していきたいかを考える		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 将来像を考える② 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 3年後、5年後の私をイメージする。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 将来像を考える③ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 キャリア教育への理解を深めることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 クラスメイトを称え合う 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 クラスのメンバーに対して、卒業後へのエールを送る		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】 定期試験・解説 【授業形態】 試験及び解説 【到達目標】		【評価について】 小テスト（40点満点） 実施方法：ワークシートの提出またはプレゼンテーション 定期試験（60点満点） 実施方法：筆記試験、ワークシートの提出

【特記事項】

科目名（英）	他職種理解 (Another Occupation Understanding)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	島滝　美奈子
		授業形態	講義	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分	4Q
学科・専攻	IT医療事務総合学科					曜日・時間	金曜日　3時限

【授業の学習内容と心構え】

医療機関において、患者様との対応を通じ、コミュニケーション能力の重要性を理解し、コミュニケーション技術を高めることのできる教員が、学生個々が考え希望する進路において、そこで求められる他職種との連携の基本となる他職種理解を深める授業を行う。
この授業の先に目指す現場があることをイメージしながら、その現場で求められると考えられる行動・姿勢を考えて授業に臨んでほしい。

【到達目標】

活動する現場において、多くの職種の方と連携を取る可能性が考えられる。それぞれの職種を理解することで、自身の対応の幅を広げられるための土台作りを目指す。

【使用教科書・教材・参考書】

講師作成資料

【授業外における学習】

講義で来て貰える他職種の、業務内容や現場での役割などを事前にリサーチしておくこと。その過程で疑問に思ったことは当日質問できるようにしておくこと。

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 オリエンテーション 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 講義で入る多職種を紹介し、各職種の業務を理解するとともに連携をイメージする。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】 他職種の実際を理解する 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他職種からの職種説明と連携の可能性について理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 他職種の実際を理解し、自職種につなげる 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他職種からの職種説明と連携の可能性について理解し、自職種で出来ることを考える		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 他職種の実際を理解する 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他職種からの職種説明と連携の可能性について理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 他職種の実際を理解し、自職種につなげる 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他職種からの職種説明と連携の可能性について理解し、自職種で出来ることを考える		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 他職種の実際を理解する 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他職種からの職種説明と連携の可能性について理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 他職種の実際を理解し、自職種につなげる 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他職種からの職種説明と連携の可能性について理解し、自職種で出来ることを考える		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 試験及び解説 【到達目標】		【評価について】 小テスト（40点満点） 実施方法：ワークシートの提出またはプレゼンテーション 定期試験（60点満点） 実施方法：筆記試験、ワークシートの提出

【特記事項】

科目名（英）	卒業研究 (Thesis)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	三宮　柾名
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	1Q 月曜日　1・2時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

大学病院の看護師として臨床経験を積んだ後、公衆衛生や医療政策に関する研究を大学で行っている。研究を通じて、チームワーク・計画力・作文力・発表力・マネジメント力など、「仕事ができる人」になるために必要な能力を鍛えていく。研究の手法や論文読解などの知識を沢山覚える必要はなく、チームでプロジェクトを完了させる経験を卒後に活かし、地域医療の発展に貢献していくことを目指す。

【到達目標】

【1Q】(1)自分の知りたいことを、PICO形式で表せる (2)医学に関する文章を2-3本読み、その文章から分かることとわからないことを簡潔にまとめられる

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料を基に行う

【授業外における学習】

研究テーマ決めや実際のデータ収集などを授業外に課す場合がある。
また研究手法や解析方法については自己研さんを推奨する。

回	授業概要
1	【授業単元】 オリエンテーション 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 研究の社会的意義について説明できる。 医療事務に関連する自分の関心毎を説明できる。
2	【授業単元】 オリエンテーション 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 研究の社会的意義について説明できる。 医療事務に関連する自分の関心毎を説明できる。
3	【授業単元】 リサーチクエスチョンを高めよう 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 リサーチクエスチョンの案を複数あげることができる 他グループのアイデアに対し、建設的な助言ができる
4	【授業単元】 リサーチクエスチョンを高めよう 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 リサーチクエスチョンの案を複数あげることができる 他グループのアイデアに対し、建設的な助言ができる
5	【授業単元】 リサーチクエスチョンを高めよう 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 リサーチクエスチョンの案を複数あげることができる 他グループのアイデアに対し、建設的な助言ができる
6	【授業単元】 リサーチクエスチョンを高めよう 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 リサーチクエスチョンの案を複数あげることができる 他グループのアイデアに対し、建設的な助言ができる
7	【授業単元】 研究方法を考えよう 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 質問票やインタビューをする際の注意点を説明できる 研究方法の案をグループごとに提示できる
8	【授業単元】 研究方法を考えよう 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 質問票やインタビューをする際の注意点を説明できる 研究方法の案をグループごとに提示できる
9	【授業単元】 研究倫理について知ろう 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 研究上おこりうる倫理的問題をあげることができる 研究に必要な倫理的配慮を考えることができる
10	【授業単元】 研究倫理について知ろう 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 研究上おこりうる倫理的問題をあげることができる 研究に必要な倫理的配慮を考えることができる
11	【授業単元】 研究の質を高めよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究計画の概要を各グループが発表し、それに対し、建設的なコメントをすることができる
12	【授業単元】 研究の質を高めよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究計画の概要を各グループが発表し、それに対し、建設的なコメントをすることができる
13	【授業単元】 読みやすい文章をつくろう 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究計画書の下書きを校正し、読みやすくて論理的な文章を書くことができる
14	【授業単元】 読みやすい文章をつくろう 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究計画書の下書きを校正し、読みやすくて論理的な文章を書くことができる
15	【授業単元】 定期試験及び課題作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 論文を読んで、PICOが何か考えることができる 研究計画書の一次案を提出することができる

【特記事項】

特になし

【評価方法について】

定期課題40点、定期試験30点、授業態度30点で評価する。

科目名（英）	卒業研究 (Thesis)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	三宮　柾名
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分	2Q
						曜日・時間	月曜日　1～4時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

大学病院の看護師として臨床経験を積んだ後、公衆衛生や医療政策に関する研究を大学で行っている。研究を通じて、チームワーク・計画力・作文力・発表力・マネジメント力など、「仕事ができる人」になるために必要な能力を鍛えていく。研究の手法や論文読解などの知識を沢山覚える必要はなく、チームでプロジェクトを完了させる経験を卒後に活かし、地域医療の発展に貢献していくことを目指す。2Qは集中特講という形で、様々な人に研究について助言をもらうことを想定している。

【到達目標】

【2Q】(1)フィールドワークを通じて、研究仮説をより明瞭にできる (2)第三者から、本研究に対する有益な知見をヒアリングすることができる

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料を基に行う

【授業外における学習】

研究テーマ決めや実際のデータ収集などを授業外に課す場合がある。
また研究手法や解析方法については自己研さんを推奨する。

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 フィールドワークを通じてデータを収集しよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 フィールドワークを通して、データを収集し、そのデータの意味を考えることができる。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】 フィールドワークを通じてデータを収集しよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 フィールドワークを通して、データを収集し、そのデータの意味を考えることができる。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 フィールドワークを通じてデータを収集しよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 フィールドワークを通して、データを収集し、そのデータの意味を考えることができる。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 フィールドワークを通じてデータを収集しよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 フィールドワークを通して、データを収集し、そのデータの意味を考えることができる。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 第三者ヒアリングを通じて、データを収集しよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 第三者ヒアリングを通して、データを収集し、そのデータの意味を考えることができる。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 第三者ヒアリングを通じて、データを収集しよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 第三者ヒアリングを通して、データを収集し、そのデータの意味を考えることができる。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 研究計画書の更新 【授業形態】 演習 【到達目標】 フィールドワークとヒアリングで集めたデータを基に、研究計画書を更新できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究内容について説明し、3Q以降何をしていくか説明できる		【評価方法について】 定期課題40点、定期試験30点、授業態度30点で評価する。発言回数はそのまま授業得点として加点されるので、積極的な発言を期待する。

【特記事項】

特になし

科目名（英）	卒業研究 (Thesis)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	三宮　柾名
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30時間 (2)	開講区分	3Q
						曜日・時間	火曜日　3・4時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

看護師として臨床経験を積んだ後、海外の大学院で公衆衛生について研究している。研究を通じて、チームワーク・計画力・作文力・発表力・マネジメント力など、「仕事ができる人」になるために必要な能力を鍛えていく。研究の手法や論文読解などの知識を沢山覚える必要はなく、チームでプロジェクトを完了させる経験を卒後に活かし、地域医療の発展に貢献していくことを目指す。

【到達目標】

【3Q】(1)研究計画書の内容・収集データ・考察の3点を含めた研究論文と発表資料を作成できる

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料を基に行う

【授業外における学習】

研究テーマ決めや実際のデータ収集などを授業外に課す場合がある。
また研究手法や解析方法については自己研さんを推奨する。

回	授業概要
1	【授業単元】　データを分析してみよう 【授業形態】　演習 【到達目標】 集めたデータから言えることを説明できる 助言を受けながら、データの入力や分析が行える
2	【授業単元】　データを分析してみよう 【授業形態】　演習 【到達目標】 集めたデータから言えることを説明できる 助言を受けながら、データの入力や分析が行える
3	【授業単元】　データを分析してみよう 【授業形態】　演習 【到達目標】 集めたデータから言えることを説明できる 助言を受けながら、データの入力や分析が行える
4	【授業単元】　データを分析してみよう 【授業形態】　演習 【到達目標】 集めたデータから言えることを説明できる 助言を受けながら、データの入力や分析が行える
5	【授業単元】　データを分析してみよう 【授業形態】　演習 【到達目標】 集めたデータから言えることを説明できる 助言を受けながら、データの入力や分析が行える
6	【授業単元】　データを分析してみよう 【授業形態】　演習 【到達目標】 集めたデータから言えることを説明できる 助言を受けながら、データの入力や分析が行える
7	【授業単元】　データを分析してみよう 【授業形態】　演習 【到達目標】 集めたデータから言えることを説明できる 助言を受けながら、データの入力や分析が行える
8	【授業単元】　データを分析してみよう 【授業形態】　演習 【到達目標】 集めたデータから言えることを説明できる 助言を受けながら、データの入力や分析が行える
9	【授業単元】論文とスライドを作成しよう 【授業形態】演習 【到達目標】 資料を引用しながら、論文とスライド資料を作ることができる
10	【授業単元】論文とスライドを作成しよう 【授業形態】演習 【到達目標】 資料を引用しながら、論文とスライド資料を作ることができる
11	【授業単元】論文とスライドを作成しよう 【授業形態】演習 【到達目標】 資料を引用しながら、論文とスライド資料を作ることができる
12	【授業単元】論文とスライドを作成しよう 【授業形態】演習 【到達目標】 資料を引用しながら、論文とスライド資料を作ることができる
13	【授業単元】論文とスライドを作成しよう 【授業形態】演習 【到達目標】 資料を引用しながら、論文とスライド資料を作ることができる
14	【授業単元】論文とスライドを作成しよう 【授業形態】演習 【到達目標】 資料を引用しながら、論文とスライド資料を作ることができる
15	【授業単元】定期試験及び課題作成 【授業形態】演習 【到達目標】 研究結果について、分かりやすく説明することができる

【評価方法について】

定期課題40点、定期試験30点、授業態度30点で評価する。発言回数はそのまま授業得点として加点されるので、積極的な発言を期待する。

【特記事項】

特になし

科目名（英）	卒業研究 (Thesis)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	三宮　柾名
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30時間 (2)	開講区分	4Q
						曜日・時間	火曜日　1時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

看護師として臨床経験を積んだ後、海外の大学院で公衆衛生について研究している。研究を通じて、チームワーク・計画力・作文力・発表力・マネジメント力など、「仕事ができる人」になるために必要な能力を鍛えていく。研究の手法や論文読解などの知識を沢山覚える必要はなく、チームでプロジェクトを完了させる経験を卒後に活かし、地域医療の発展に貢献していくことを目指す。

【到達目標】

【4Q】(1)研究内容をわかりやすく発表できる (2)わかりやすい研究論文を作成した後、関連学会に提出する準備ができる

【使用教科書・教材・参考書】

配布資料を基に行う

【授業外における学習】

研究テーマ決めや実際のデータ収集などを授業外に課す場合がある。
また研究手法や解析方法については自己研さんを推奨する。

回	授業概要
1	【授業単元】 質疑応答や出版にむけた準備をしよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 発表における想定質問回答集を作ることができる 説得力があり、かつわかりやすい発表を行える 学会提出に向けて論文を修正し、投稿できる
2	【授業単元】 質疑応答や出版にむけた準備をしよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 発表における想定質問回答集を作ることができる 説得力があり、かつわかりやすい発表を行える 学会提出に向けて論文を修正し、投稿できる
3	【授業単元】 質疑応答や出版にむけた準備をしよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 発表における想定質問回答集を作ることができる 説得力があり、かつわかりやすい発表を行える 学会提出に向けて論文を修正し、投稿できる
4	【授業単元】 質疑応答や出版にむけた準備をしよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 発表における想定質問回答集を作ることができる 説得力があり、かつわかりやすい発表を行える 学会提出に向けて論文を修正し、投稿できる
5	【授業単元】 質疑応答や出版にむけた準備をしよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 発表における想定質問回答集を作ることができる 説得力があり、かつわかりやすい発表を行える 学会提出に向けて論文を修正し、投稿できる
6	【授業単元】 質疑応答や出版にむけた準備をしよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 発表における想定質問回答集を作ることができる 説得力があり、かつわかりやすい発表を行える 学会提出に向けて論文を修正し、投稿できる
7	【授業単元】 質疑応答や出版にむけた準備をしよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 発表における想定質問回答集を作ることができる 説得力があり、かつわかりやすい発表を行える 学会提出に向けて論文を修正し、投稿できる
8	【授業単元】 質疑応答や出版にむけた準備をしよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 発表における想定質問回答集を作ることができる 説得力があり、かつわかりやすい発表を行える 学会提出に向けて論文を修正し、投稿できる
9	【授業単元】 質疑応答や出版にむけた準備をしよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 発表における想定質問回答集を作ることができる 説得力があり、かつわかりやすい発表を行える 学会提出に向けて論文を修正し、投稿できる
10	【授業単元】 質疑応答や出版にむけた準備をしよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 発表における想定質問回答集を作ることができる 説得力があり、かつわかりやすい発表を行える 学会提出に向けて論文を修正し、投稿できる
11	【授業単元】 質疑応答や出版にむけた準備をしよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 発表における想定質問回答集を作ることができる 説得力があり、かつわかりやすい発表を行える 学会提出に向けて論文を修正し、投稿できる
12	【授業単元】 質疑応答や出版にむけた準備をしよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 発表における想定質問回答集を作ることができる 説得力があり、かつわかりやすい発表を行える 学会提出に向けて論文を修正し、投稿できる
13	【授業単元】 質疑応答や出版にむけた準備をしよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 発表における想定質問回答集を作ることができる 説得力があり、かつわかりやすい発表を行える 学会提出に向けて論文を修正し、投稿できる
14	【授業単元】 質疑応答や出版にむけた準備をしよう 【授業形態】 演習 【到達目標】 発表における想定質問回答集を作ることができる 説得力があり、かつわかりやすい発表を行える 学会提出に向けて論文を修正し、投稿できる
15	【授業単元】 定期試験及び課題作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 本研究の要点を、分かりやすく説明することができる

【特記事項】

特になし

【評価方法について】

定期課題40点、定期試験30点、授業態度30点で評価する。発言回数はそのまま授業得点として加点されるので、積極的な発言を期待する。

科目名（英）	診療報酬請求事務演習 (Medical Examination and Treatment Reward Request Office Work Practice)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	岡嶋　由紀
		授業形態	演習	総時間（単位）	30時間 (2)	開講区分	1Q
学科・専攻	IT医療事務総合学科					曜日・時間	火曜日　1・2時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、診療報酬算定業務を正確に行う知識と技術を習得するための授業を行う。演習内容は、医療秘書技能検定試験準1級を中心として行うが、診療報酬請求事務能力認定試験や医事コンピュータ技能検定試験にも共通する知識、技術となる。1年次に引き続き、毎回の授業ノート、プリント類のファイリングを丁寧に行い、常に復習・練習しやすい準備を整えて授業に臨んで欲しい。

【到達目標】

医科点数早見表の告示・通知の内容を正しく理解し、特定入院料の算定ができる。
レセプト記載要領に従ったレセプト作成ができる。
医療秘書技能検定試験準1級（領域Ⅲ）の合格基準を超える解答ができる。

【使用教科書・教材・参考書】

『診療点数早見表』（医学通信社）
医療秘書技能検定試験準1級過去問題（プリント）

【授業外における学習】

演習課題の復習をし、理解を定着させること

回	授業概要
1	【授業単元】　特定入院料とは 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・特定入院料の種類を理解する ・特定入院料の一般的事項を理解する
2	【授業単元】　特定入院料の算定 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・特定集中治療室の算定ができる
3	【授業単元】　特定入院料の算定 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・広範囲熱傷集中治療室の算定ができる
4	【授業単元】　問題演習と解説 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験準1級（領域Ⅲ）の問題を解き、時間内に合格基準を超える解答ができる
5	【授業単元】　特定入院料の算定 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・回復期リハビリテーション病棟の算定ができる
6	【授業単元】　問題演習と解説 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験準1級（領域Ⅲ）の問題を解き、時間内に合格基準を超える解答ができる
7	【授業単元】　特定入院料の算定 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・小児特定集中治療室の算定ができる
8	【授業単元】　問題演習と解説 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験準1級（領域Ⅲ）の問題を解き、時間内に合格基準を超える解答ができる
9	【授業単元】　特定入院料の算定 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・総合周産期特定集中治療室の算定ができる
１０	【授業単元】　問題演習と解説 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験準1級（領域Ⅲ）の問題を解き、時間内に合格基準を超える解答ができる
１１	【授業単元】　特定入院料の算定 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・地域包括ケア病棟の算定ができる
１２	【授業単元】　問題演習と解説 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験準1級（領域Ⅲ）の問題を解き、時間内に合格基準を超える解答ができる
１３	【授業単元】　短期滞在手術等基本料の算定 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・短期滞在手術等基本料の算定ができる
１４	【授業単元】　問題演習と解説 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験準1級（領域Ⅲ）の問題を解き、時間内に合格基準を超える解答ができる
１５	【授業単元】　定期試験、解答解説 【授業形態】 【到達目標】

【評価方法について】

評価は、筆記試験で行う。
授業で習得した専門的な知識の理解度、定着度を確認する。
筆記試験は、小テスト（40点）と定期試験（60点）の合計100点満点で評価する。
評価は学則規定に準ずる。

【特記事項】

1年次で配布したプリント（早見表）を継続して使用する
毎回電卓を持参すること

科目名（英）	診療報酬請求事務演習 (Medical Examination and Treatment Reward Request Office Work Practice)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	塩原 俊之
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	30時間（2）	開講区分 曜日・時間	3Q 月曜日 1・2時限

【授業の学習内容と心構え】

・専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、各種レセプトの知識を習得する授業を行う。

【到達目標】

労災レセプト、自賠責レセプトの算定を正しくできる力を習得する。

【使用教科書・教材・参考書】

『診療点数早見表』(医学通信社)

【授業外における学習】

授業で習得した内容を復習しておくこと。

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】労災レセプト 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 労災レセプトの算定ができる	9	【授業単元】自賠責レセプト 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 自賠責レセプトの算定ができる
2	【授業単元】労災レセプト 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 労災レセプトの算定ができる	10	【授業単元】自賠責レセプト 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 自賠責レセプトの算定ができる
3	【授業単元】労災レセプト 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 労災レセプトの算定ができる	11	【授業単元】生活保護法 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 生活保護法レセプトの算定ができる
4	【授業単元】労災レセプト 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 労災レセプトの算定ができる	12	【授業単元】難病 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 難病レセプトの算定ができる
5	【授業単元】労災レセプト 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 労災レセプトの算定ができる	13	【授業単元】感染症法 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 結核レセプトの算定ができる
6	【授業単元】労災レセプト 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 労災レセプトの算定ができる	14	【授業単元】感染症法 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 結核レセプトの算定ができる
7	【授業単元】自賠責レセプト 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 自賠責レセプトの算定ができる	15	【授業単元】定期試験・解答解説 【授業形態】演習 【到達目標】 1.定期試験
8	【授業単元】自賠責レセプト 【授業形態】演習 【到達目標】 1. 自賠責レセプトの算定ができる		

【評価方法について】

評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。

【特記事項】

科目名（英）	診療報酬請求事務演習 (Medical Examination and Treatment Reward Request Office Work Practice)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	塩原　俊之
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	30時間（2）	開講区分 曜日・時間	4Q 月曜日　1・2時限

【授業の学習内容と心構え】

・専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、レセプト点検作業を行うレベルの知識を習得する授業を行う。医療現場においてレセプト点検業務は、経営に関わる重要な業務であることを認識して取り組んでほしい。

【到達目標】

医科診療点数早見表の内容を正しく理解し、レセプト点検業務を正しくできる力を習得する。

【使用教科書・教材・参考書】

『診療点数早見表』(医学通信社)

【授業外における学習】

授業で習得した内容を復習しておくこと。

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】レセプト作成 【授業形態】演習 【到達目標】 ・外来カルテ(公費)にもとづくレセプト作成ができる	9	【授業単元】レセプト点検 【授業形態】演習 【到達目標】 ・外来症例におけるレセプト点検ができる
2	【授業単元】レセプト作成 【授業形態】演習 【到達目標】 ・外来カルテ(公費)にもとづくレセプト作成ができる	10	【授業単元】レセプト点検 【授業形態】演習 【到達目標】 ・外来症例におけるレセプト点検ができる
3	【授業単元】レセプト作成 【授業形態】演習 【到達目標】 ・外来カルテ(後期高齢者)にもとづくレセプト作成ができる	11	【授業単元】レセプト点検 【授業形態】演習 【到達目標】 ・入院症例におけるレセプト点検ができる
4	【授業単元】レセプト作成 【授業形態】演習 【到達目標】 ・外来カルテ(後期高齢者)にもとづくレセプト作成ができる	12	【授業単元】レセプト点検 【授業形態】演習 【到達目標】 ・入院症例におけるレセプト点検ができる
5	【授業単元】レセプト点検 【授業形態】演習 【到達目標】 ・外来症例におけるレセプト点検ができる	13	【授業単元】レセプト点検 【授業形態】演習 【到達目標】 ・入院症例におけるレセプト点検ができる
6	【授業単元】レセプト点検 【授業形態】演習 【到達目標】 ・外来症例におけるレセプト点検ができる	14	【授業単元】レセプト点検 【授業形態】演習 【到達目標】 ・入院症例におけるレセプト点検ができる
7	【授業単元】レセプト点検 【授業形態】演習 【到達目標】 ・外来症例におけるレセプト点検ができる	15	【授業単元】定期試験・解答解説 【授業形態】演習 【到達目標】
8	【授業単元】レセプト点検 【授業形態】演習 【到達目標】 ・外来症例におけるレセプト点検ができる		

【評価方法について】

評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。

【特記事項】

科目名（英）	医事コンピュータ (Medical-Affairs Computer)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	岡嶋　由紀
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	1Q 火曜日 3時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医事コンピュータの基礎知識と操作技術を習得するための授業を行う。医事コンピュータの操作方法を習得するためには、前提として診療報酬請求事務演習で習得する算定の知識が必須となる。また医事コンピュータの操作を通して診療報酬請求事務演習の理解がより深まることになるため、常に両科目の関連を意識して、より正確な知識と技術の向上を目指してほしい。

【到達目標】

様々な症例（外来・入院）に対応し、レセプト作成できる知識と技術を習得する。
特記事項欄や患者負担額欄に表示される内容を理解する。
医事コンピュータ技能検定試験準1級（領域Ⅲ）の出題傾向を掴む。

【使用教科書・教材・参考書】

『診療点数早見表』（医学通信社）
『《医科》カルテ例題集』（ケアアンドコミュニケーション）

【授業外における学習】

算定及び記載のルールを復習すること
操作に不安がある場合は、オープン教室等を利用して練習すること

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 外来症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・精神科の症例が入力できる ・整形外科の症例が入力できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】 入院症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・後期高齢者医療の症例が入力できる ・負担金額の確認ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 外来症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・人工腎臓の症例が入力できる ・特記事項の確認ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 入院症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・短期滞在手術等基本料のレセプト作成ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 領域Ⅲ対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・複雑な入院症例から出来高レセプトが作成できる ・出来高レセプトからDPCレセプトが作成できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 領域Ⅲ対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・複雑な入院症例から出来高レセプトが作成できる ・出来高レセプトからDPCレセプトが作成できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 領域Ⅲ対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・診療録形式から入院出来高レセプトが作成できる ・入院出来高レセプトからDPCレセプトが作成できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 【到達目標】		【評価方法について】 評価は、実技試験で行う。 授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 実技試験は、小テスト（40点）と定期試験（60点）の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。

【特記事項】

1年次で配布したプリント（早見表）を継続して使用する

科目名（英）	医事コンピュータ (Medical-Affairs Computer)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	岡嶋　由紀
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分	3Q
						曜日・時間	火曜日　1時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医事コンピュータの基礎知識と操作技術を習得するための授業を行う。医事コンピュータの操作方法を習得するためには、前提として診療報酬請求事務演習で習得する算定の知識が必須となる。また医事コンピュータの操作を通して診療報酬請求事務演習の理解がより深まることになるため、常に両科目の関連を意識して、より正確な知識と技術の向上を目指してほしい。

【到達目標】

複雑な入院症例から出来高レセプトが作成できる。
出来高レセプトからDPCレセプトが作成できる。
医事コンピュータ技能検定試験準1級（領域Ⅰ・領域Ⅲ）の合格基準を超える解答ができる。

【使用教科書・教材・参考書】

『診療点数早見表』（医学通信社）　※配布プリントを使用
医事コンピュータ技能検定試験準1級過去問題（プリント）

【授業外における学習】

演習課題の復習をし、理解を定着させること
操作に不安がある場合は、オープン教室等を利用して練習すること

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】　領域Ⅲ対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・複雑な入院症例から出来高レセプトが作成できる ・出来高レセプトからDPCレセプトが作成できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】　領域Ⅲ対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 複雑な入院症例から正しい出来高レセプトが作成できる。 出来高レセプトから正しいDPCレセプトが作成できる。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】　領域Ⅰ対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験準1級（領域Ⅰ）の演習で、合格基準を超える解答ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】　領域Ⅲ対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験準1級（領域Ⅲ）問題を入力し、時間内に合格基準を超える解答ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】　領域Ⅰ対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験準1級（領域Ⅰ）の演習で、合格基準を超える解答ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】　領域Ⅲ対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験準1級（領域Ⅲ）問題を入力し、時間内に合格基準を超える解答ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】　定期試験、解答解説 【授業形態】 【到達目標】		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】　領域Ⅲ対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験準1級（領域Ⅲ）問題を入力し、時間内に合格基準を超える解答ができる		

【特記事項】

1年次で配布したプリント（早見表）を継続して使用する

【評価方法について】

評価は、実技試験で行う。
授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。
実技試験は、小テスト（40点）と定期試験（60点）の合計100点満点で評価する。
評価は学則規定に準ずる。

科目名（英）	医事コンピュータ (Medical-Affairs Computer)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	岡嶋　由紀
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	4Q 水曜日　3時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医事コンピュータの基礎知識と操作技術を習得するための授業を行う。医事コンピュータの操作方法を習得するためには、前提として診療報酬請求事務演習で習得する算定の知識が必須となる。また医事コンピュータの操作を通して診療報酬請求事務演習の理解がより深まることになるため、常に両科目の関連を意識して、より正確な知識と技術の向上を目指してほしい。

【到達目標】

公費負担医療のレセプト作成ができる知識と技術を習得する。
電子カルテ（入院症例）の操作を習得する。

【使用教科書・教材・参考書】

『診療点数早見表』（医学通信社）
『《医科》カルテ例題集』（ケアアンドコミュニケーション）

【授業外における学習】

演習課題の復習をし、理解を定着させること
操作に不安がある場合は、オープン教室等を利用して練習すること

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 公費負担医療 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・生活保護法の症例のレセプト作成ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】 公費負担医療 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・感染症法の症例のレセプト作成ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 公費負担医療 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・難病法の症例のレセプト作成ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 外来症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・在宅医療の症例のレセプト作成ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 電子カルテ（入院症例） 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・入院機能の全体像が理解できる ・入退院窓口の操作ができる ・病棟における操作ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 電子カルテ（入院症例） 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・臨時処理と定時処理の操作ができる ・退院受付処理の操作ができる ・食事の設定ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 点数改正について 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・点数改正のスケジュールを理解する ・次年度改正の骨子を理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 【到達目標】		【評価方法について】 評価は、実技試験で行う。 授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 実技試験は、小テスト（40点）と定期試験（60点）の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。

【特記事項】

1年次で配布したプリント（早見表）を継続して使用する

科目名（英）	医療制度と医療関連法規 (Medical Relation Regulation)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	岡嶋　由紀
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	講義	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	1Q 木曜日　3時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医療関連法規の理解を深める授業を行う。
問題演習を中心に、1年次で学習した医療関連法規の理解をさらに深めていくとともに、より広い関連法規の分野へと視野を広げて学習していく。
また、医療秘書技能検定試験準1級合格に向けて、「病院業務と病院の運営管理」と併せて（領域Ⅰ）の分野を網羅する内容とする。準1級は必修の検定ではないが多くの学生に挑戦して欲しい。

【到達目標】

1年次で習得した医療関連法規の知識を深め、様々な出題パターンに対応できる。
出題頻度の少ないテーマにも対応できるよう準備する。
医療秘書技能検定試験準1級（領域Ⅰ）の合格基準を超える解答ができる。

【使用教科書・教材・参考書】

『医事関連法の完全知識』（医学通信社）
医療秘書技能検定試験準1級過去問題（プリント）

【授業外における学習】

演習課題の復習をし、理解を定着させること

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】　医療法 【授業形態】　講義・演習 【到達目標】 ・医療法に関する問題に正答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】　医療従事者法・医療用語 【授業形態】　講義・演習 【到達目標】 ・医療従事者法に関する問題に正答できる ・医療用語に関する問題に正答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】　社会保障制度 【授業形態】　講義・演習 【到達目標】 ・法の種類、構造、法令用語等の問題に正答できる ・社会保障制度の問題に正答できる ・地域包括ケアシステムに関する問題に正答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】　医療保険制度 【授業形態】　講義・演習 【到達目標】 ・医療保険制度に関する問題に正答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】　診療報酬請求と審査制度 【授業形態】　講義・演習 【到達目標】 ・診療報酬と審査制度に関する問題に正答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】　療養担当規則、公費負担医療 【授業形態】　講義・演習 【到達目標】 ・療養担当規則に関する問題に正答できる ・公費負担医療に関する問題に正答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】　問題演習と解説 【授業形態】　講義・演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験準1級（領域Ⅰ）の問題を解いて、合格基準を超える解答ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】　定期試験、解答解説 【授業形態】 【到達目標】		【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。 授業で習得した専門的な知識の理解度、定着度を確認する。 筆記試験は、小テスト（40点）と定期試験（60点）の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。

【特記事項】

1年次に配布したプリントを継続して使用する

科目名（英）	疾病学 (Disease Studies)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	サラメ 美保子
学科・コース	IT医療事務総合学科	授業形態	講義	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	1Q 金曜日 3限

【授業の学習内容と心構え】

看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対しての教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のために貢献してきた教員が、1年生で学習した「人の体と機能」と「疾病学」が単限毎の理解ではなく、双方が結び付けられているかどうかを確認しながら授業を行っていく。また、その知識が強固となるよう毎回練習問題を行っていくが、医療秘書技能検定準1級に合格できるようサポートしていく。

【到達目標】

1年生で習得した体の解剖生理学的知識の理解を十分に深め、各臓器・器官の主な疾病と結び付けることができ、その知識を医療秘書としての業務に役立たせることができる。

【使用教科書・教材・参考書】

ぜんぶわかる人体解剖図　　坂井武雄　他著　　成美堂出版
※各授業毎にプリントを配布

【授業外における学習】

・各授業で配布したプリント及び小テストの復習
・授業中紹介する映像サイトなどで視聴覚的に復習する

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 頭部の構造、脳と脊髄・神経、脳の血管、内分泌機能 【授業形態】 講　義　・　練習問題実施　・　解答確認 【到達目標】 頭部・脳の解剖生理と役割・機能を十分に理解し、疾患に結びつけることができる 内分泌機能の解剖生理と役割・機能を十分に理解し、疾患に結びつけることができる		
2	【授業単元】 心臓の解剖生理とその機能、血管と血液成分 【授業形態】 講　義　・　練習問題実施　・　解答確認 【到達目標】 心臓及び血管・血液の解剖生理と役割・機能を十分に理解し、疾患に結びつけることができる		
3	【授業単元】 呼吸器の解剖生理、ガス(酸素と二酸化炭素)交換 【授業形態】 講　義　・　練習問題実施　・　解答確認 【到達目標】 呼吸器の解剖生理と役割・機能を十分に理解し、疾患に結びつけることができる		
4	【授業単元】 消化器系各臓器＋脾臓の解剖生理及び役割・機能 【授業形態】 講　義　・　練習問題実施　・　解答確認 【到達目標】 消化器系各臓器の解剖生理と役割・機能を十分に理解し、疾患に結びつけることができる		
5	【授業単元】 腎臓を含む泌尿器・生殖器系の解剖生理と役割・機能 【授業形態】 講　義　・　練習問題実施　・　解答確認 【到達目標】 腎臓・泌尿器・生殖器の解剖生理と役割・機能を十分に理解し、疾患に結びつけることができる		
6	【授業単元】 感覚器系の解剖生理と役割・機能 【授業形態】 講　義　・　練習問題実施　・　解答確認 【到達目標】 感覚器系の解剖生理と役割・機能を十分に理解し、疾患に結びつけることができる		
7	【授業単元】 基礎医学及び検査、医療英語と医療英略語 【授業形態】 講　義　・　練習問題実施　・　解答確認 【到達目標】 基礎医学及びその周辺に関する知識を再確認する		←第7講の基礎医学は広範囲にわたり、内容・問題数も多いため、第1～6講で時間がある場合は随時この領域を進めていく。
8	【授業単元】 定期試験（60点満点)、解答解説 【授業形態】 筆記試験		【評価について】 評価は小テストと定期試験で行う。 ・小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。小テスト、定期試験共に筆記試験を行う。 ・小テストは、第1回～6回授業の各回最後に計6回行う。 ・評価は学則規定に準ずる。

【特記事項】

授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリントに必ず重要事項を記入すること。

科目名（英）	DPC演習 (DPC Practice)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	岡嶋　由紀
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	1Q 金曜日　2時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、DPCによる包括評価制度の概要を理解し、算定の実務を習得するための授業を行う。個別出来高評価の知識やICDコーディングの知識等を必要とする非常に複雑な制度であるが、演習を通して基本的な知識をわかりやすく解説する。急性期病院を目指す学生にとっては必須となる制度であるという意識をもって取り組んで欲しい。

【到達目標】

DPC包括評価制度の概要が理解できる。
DPC包括評価部分の算定及びDPCレセプトの記載ができる。
DPCソフトを使用し、DPCレセプトが作成できる。

【使用教科書・教材・参考書】

『DPCの理解と演習』（ケアアンドコミュニケーション）　※配布プリントを使用
参考書:『DPC点数早見表』（医学通信社）

【授業外における学習】

演習課題の復習をし、理解を定着させること

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】　DPCの要点 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・DPCの要点を説明できる ・包括評価部分の算定ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】　DPCソフトによるレセプト作成 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・DPCソフトを使用して、DPCレセプト作成ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】　DPCソフトによるレセプト作成 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・DPCソフトを使用して、DPCレセプト作成ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】　請求のパターン 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・包括評価部分の請求のパターンを説明できる ・診断群分類が途中で変更になった場合の調整ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】　診療報酬明細書の記載要領 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・記載要領に従ってDPCレセプトが作成できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】　提出データの概要 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・提出データの内容と様式を区別できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】　DPCソフトによるレセプト作成 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・DPCソフトを使用して、DPCレセプト作成ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】　定期試験、解答解説 【授業形態】 【到達目標】		【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。 授業で習得した専門的な知識の理解度、定着度を確認する。 筆記試験は、小テスト（40点）と定期試験（60点）の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。

【特記事項】

1年次で配布したプリントを継続して使用する
毎回電卓を持参すること

科目名（英）	IT基礎理論・知識 (IT Basic theory/knowledge)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	塩原 俊之
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	講義	総時間（単位）	15時間（1）	開講区分 曜日・時間	1Q 木曜日 2時限

【授業の学習内容と心構え】

専門学校において10年以上教員経験があり、コンピュータシステム開発経験を有する教員が、IT基礎理論・知識を習得する授業を行う。
ITパスポート試験の「テクノロジ系」の出題範囲、医事コンピュータ技能検定準1級「コンピュータ関連知識」の出題範囲であることを認識して受講してほしい。

【到達目標】

1. ITに関する基礎知識を習得する。
2. ITパスポート試験における「テクノロジ系」の過去問題が解答できる。
3. 医事コンピュータ技能検定試験準1級の「コンピュータ関連知識」の過去問題が解答できる。

【使用教科書・教材・参考書】

『改訂医事コンピュータ関連知識』（建帛社）

【授業外における学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】医事コンピュータ技能検定試験 【授業形態】講義 【到達目標】 1. 医事コンピュータ技能検定試験準1級の「コンピュータ関連知識」の出題内容について説明できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】LANの基礎知識 【授業形態】講義 【到達目標】 1. LANの規格について説明できる 2. LANアクセス制御方式について説明できる 3. LANの接続状態について説明ができる 4. 無線LANについて説明できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 LANの構成機器 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 通信用ケーブルについて説明できる 2. ネットワーク間接続装置の種類について説明できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 セキュリティ保護 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. セキュリティの定義について説明できる 2. セキュリティのリスクについて説明できる 3. セキュリティ対策について説明できる 4. セキュリティに関する法律について説明できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 個人情報保護 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 個人情報保護法の主な内容について説明できる 2. 個人情報保護法の考え方について説明できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 電子カルテ 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 医療の課題と情報化について説明できる 2. 医療情報の標準化について説明できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 医療情報システム 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 電子カルテの法制度について説明できる 2. 電子カルテシステムの基本的な機能について説明できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 定期試験		【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト（40点）と定期試験（60点）の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。

【特記事項】

科目名（英）	病院業務と病院の運営管理 (Hospital duties and administration management of the hospital)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	岡嶋　由紀
		授業形態	講義	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分	1Q
学科・専攻	IT医療事務総合学科					曜日・時間	金曜日　1時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、病院管理の基礎知識を習得するための授業を行う。
本授業では、1年次で学習した病院の目的や機能、病院の組織と管理を基礎として、さらに病院経営、運営・管理、統計業務、病院会計など、病院マネジメントに必要な基礎知識を幅広く習得することを目指す。また、医療秘書技能検定試験準1級合格に向けて「医療制度と医療関連法規」と併せて、（領域Ⅰ）の分野を網羅する内容とする。準1級は必修の検定ではないが多くの学生に挑戦して欲しい。

【到達目標】

病院の目的と機能を再確認し、病院の組織、運営・管理の理解を深める。
統計業務及び病院会計に関する基礎知識を習得する。
医療秘書技能検定試験準1級（領域Ⅰ）の合格基準を超える解答ができる。

【使用教科書・教材・参考書】

医療秘書技能検定試験準1級過去問題（プリント）

【授業外における学習】

演習課題の復習をし、理解を定着させること

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】　病院の沿革、病院の目的と機能、病院の部門 【授業形態】　講義・演習 【到達目標】 ・病院の沿革の問題に正答できる ・病院の目的と機能の問題に正答できる ・病院の部門の役割と機能の問題に正答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】　病院の組織・運営、管理 【授業形態】　講義・演習 【到達目標】 ・組織の基本構造、基本形態の問題に正答できる ・組織(管理)の原則の問題に正答できる ・病院管理における人物名を区別できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】　医療安全管理 【授業形態】　講義・演習 【到達目標】 ・医療安全管理の問題に正答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】　医療の質管理 【授業形態】　講義・演習 【到達目標】 ・医療の質の3つの側面について説明できる ・医療の質を向上させる具体例を挙げることができる ・質の評価方法が理解できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】　医事統計・経営指標 【授業形態】　講義・演習 【到達目標】 ・病院報告の内容が理解できる ・主な患者統計分析の計算ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】　病院会計 【授業形態】　講義・演習 【到達目標】 ・財務会計と管理会計の違いが理解できる ・財務諸表の種類と目的が理解できる ・損益分岐点の計算ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】　定期試験、解答解説 【授業形態】 【到達目標】		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】　問題演習と解説 【授業形態】　講義・演習 【到達目標】 ・医療秘書技能検定試験準1級（領域Ⅰ）の問題を解き、時間内に合格基準を超える解答ができる		

【特記事項】

1年次に配布した資料を継続して使用する

【評価方法について】

評価は、筆記試験で行う。
授業で習得した専門的な知識の理解度、定着度を確認する。
筆記試験は、小テスト（40点）と定期試験（60点）の合計100点満点で評価する。
評価は学則規定に準ずる。

科目名（英）	カルテ読解 （ Reading Medical Records ）	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	門馬　真樹
学科・コース	IT医療事務総合学科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	1Q 水曜日　2時限

【授業の学習内容と心構え】
欠席をしないことが基本となる。
診療情報管理士として17年間、大学病院、特定機能病院に勤務し、診療記録の監査、傷病名のコーディング、医療統計等の業務に携わる。また、専門学校教員として各学校で診療情報管理科の科目及び医療系学科で複数の科目を担当してきた。本授業では、正確にカルテを読解できるよう指導する。カルテを読解するために、臨床医学知識、手術や検査の内容、医療用語、略語に至るまで、幅広い授業内容となる。

【到達目標】
臨床医学なども含め、正確にカルテを読解できること（主傷病名、副傷病名、主の医療行為、副医療行為などの選択）を目標とする。
チーム医療の中の役割の一つとして、カルテの監査を出来るようになる。

【使用教科書・教材・参考書】
診療情報管理Ⅳ（専門・分類法編）第8版（講師作成プリントで対応）

【授業外における学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】感染症および寄生虫症 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 感染症および寄生虫症の理解 細菌感染、ウィルス感染、伴う合併症などについて理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】 新生物 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 日本の死因第1位である新生物について理解する 悪性、良性、上皮内、性状不詳および新生物の組織形態についても理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 血液および造血器、免疫機構の障害 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 紫斑病などの血液疾患や遺伝性の血液疾患等について理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 内分泌、栄養および代謝疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 糖尿病および糖尿病の合併症、甲状腺疾患等について理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 神経系の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 ギラン・バレー症候群や睡眠時無呼吸等の神経系の疾患を理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 眼および付属器の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 眼疾患の代表ともいえる白内障や斜視等の眼疾患について理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 耳および乳様突起の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 難聴や中耳炎など、耳鼻咽喉科でよく見られる疾患について理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】定期試験、解答解説 【授業形態】定期試験 【到達目標】 定期試験		【評価について】 評価は筆記試験で行う。小テストを40点とし定期試験を60点、合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。

【特記事項】

科目名（英）	実習前後教育 (Introduction to Research / Review of Research Workshop)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	島滝　美奈子
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	2Q 集中

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

医療事務の経験を有し、医療現場で得た知識・技術を備えた教員が、ホスピタリティの重要性について教え、社会人として必要な「身構え・気構え・心構え」を身につけるための授業を行う。また、実習後に適切な振り返りを行い、それをまとめ、プレゼンする力を修得する。実習と現場は直結するものであるというイメージを持って授業に臨んで欲しい。

【到達目標】

実習前教育：現場実習に向けて、意義を理解し、身構え・気構え・心構えを身に付ける。
実習後教育：実習の振り返りをしっかり行い、自身の今後に向けて強みと課題を理解する

【使用教科書・教材・参考書】

・実習研修日誌
・講師作成資料

【授業外における学習】

実習先を事前にしっかり調べ、理解をしておくこと。また、実習後の発表会に向けて、パワーポイントの作成及びプレゼンのための準備で授業時間では足りない分は、授業外に時間を利用して補うこと。

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 実習前教育　心構え 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 実習の目的や概要を理解し、自身の目標を設定する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】 目標設定 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 実習の目的や概要を理解し、自身の目標を設定する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 実習先を知る① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 実習施設を知り、そこで活動するために必要なことを自身に落とし込む		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 実習先を知る② 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 実習施設を知り、そこで活動するために必要なことを自身に落とし込む		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 実習後教育　実習の振り返り・諸手続き 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 実習を振り返り、感情と情報を共有する お礼状を準備する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 実習後教育　実習報告会準備 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 実習での事柄をまとめ、報告会の準備をする		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 実習後教育　実習報告会準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 実習での事柄をまとめ、報告会の準備をする		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】 実習後教育　実習報告会（1年生聴講） 【授業形態】 演習 【到達目標】 実習での事柄をまとめ、報告会で発表をする また、それぞれの発表に対する感想・評価を共有する		【評価について】 評価は実習報告のプレゼンテーションをもとに判断する。 プレゼンテーション内容と、発表のスキルを総合的に判断する。

【特記事項】

科目名（英）	就職対策講座Ⅱ（面接） （Measures Employment Seminar Ⅱ）	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	横 美穂
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	1Q 月曜日 4時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

企業における人材育成にも携わり、専門学校や大学で長年にわたって就職指導をしてきた教員が、面接対応力を身につけるための授業を行う
社会人になるという自覚と就職に対する強い意識を持って受講してほしい

【到達目標】

面接におけるマナーを習得する
面接官の質問の意図を理解し、適切な回答ができる
言語的コミュニケーションだけでなく、非言語的コミュニケーションにおいても高い評価を得ることができる

【使用教科書・教材・参考書】

プリント資料

【授業外における学習】

多くの社会人と会い、社会人の価値観・ものの見方に触れるようにする
普段から丁寧な言葉遣いとわかりやすい表現の仕方を心がける

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 面接の目的、面接の心構え 【授業形態】 講義 【到達目標】 面接の目的と心構え、面接の種類、評価のポイントを理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】 第一印象の重要性・身だしなみ・立ち居振舞い 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 第一印象の重要性について説明できる 面接の流れを知り、面接時の身だしなみと基本動作（挨拶、入退室、立ち方、座り方、立ち上がり方）を身につける		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 個人面接演習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 「何を話すか」「どう話すか」話し方のポイントについて説明できる 演習後のフィードバックから、自分の強みと改善点を把握し、今後の対策を講じることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 集団面接演習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 集団面接で評価されるポイントについて説明できる 演習後のフィードバックから、自分の強みと改善点を把握し、今後の対策を講じることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 グループディスカッション演習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 グループディスカッションの目的と評価のポイントが説明できる グループディスカションで自分が担った役割を振り返り、自分の強みと改善点を把握し、今後の対策を講じることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 面接演習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 面接官役をすることで、採用担当者の視点を理解し、今後に活かすことができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 総合面接演習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 想定問答演習を行い ①質問に的確に答えられる ②わかりやすく伝えられる ③聞き取りやすい話し方ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】		【評価方法について】 評価は、毎回実施する小テスト（筆記または実技40点分）と定期試験（60点）の合計100点満点で行う 評価は学則規定に準ずる

【特記事項】

科目名（英）	就職対策講座Ⅲ（試験） （ Measures Employment SeminarⅢ ）	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	横 美穂
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	15時間 （1）	開講区分 曜日・時間	1Q 月曜日 3時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

専門学校や大学で長年にわたり就職対策講座を担当してきた教員が、筆記試験における苦手分野を克服し、自信を持って就職活動に臨めるようにするための授業を行う
社会人になるという自覚と就職に対する強い意識を持って受講してほしい

【到達目標】

出題傾向を知り、解法パターンを身につける
得意分野と苦手分野を把握し、苦手意識を払拭する

【使用教科書・教材・参考書】

プリント資料

【授業外における学習】

常に新聞やニュースをチェックする
毎回課題を準備するので、自習することが望ましい

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 SPI・一般常識対策 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 苦手分野を把握し、今後の対策を講じることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】 SPI・一般常識対策 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 苦手分野を把握し、今後の対策を講じることができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 SPI・一般常識対策 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 得意分野と苦手分野を把握し、苦手意識を払拭する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 SPI・一般常識対策 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 得意分野と苦手分野を把握し、苦手意識を払拭する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 時事問題・小論文 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 時事問題の情報収集法と勉強法を知る 評価される小論文の書き方のコツについて説明できる 時事問題をテーマに小論文が書ける		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 時事問題・小論文 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 時事問題をテーマに小論文が書ける		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 総合問題演習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 わからない問題を洗い出し、何がわからなかったのかを特定する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】		【評価方法について】 評価は、毎回の課題提出（40点分）と定期試験（60点）の合計100点満点で行う 評価は学則規定に準ずる

【特記事項】

科目名（英）	事例検討 (Case Study)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	竹山 聡　宮澤 清美
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	1Q 木曜日 4限

【授業の学習内容と心構え】

都内の病院で長く医事業務を担当した経験から、現場の様々な事例をもとにみなさんと一緒に解決策・対処法をディスカッションしていきたい。医療業界に飛び込む上で役立てていけるような演習にしてくので、学生が主体となって積極的に考察・発言していくことに期待している。
できる限りグループ討議を交えた授業にしていきたい。討議を交えたものも織り込んでいきたい。

【到達目標】

医療業界に就職しても困らない知識・思考力・行動力を身につけ、しっかりとした自分の意見・考えを伝えられるようにする。

【使用教科書・教材・参考書】

スライドと毎回プリント・資料を配布する

【授業外における学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】オリエンテーション 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 授業の進め方を理解する （ケース1）患者登録の誤り （ケース2）会計の待ち時間について		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】事例検討 【授業形態】演習 【到達目標】 （ケース3）会計の誤り （ケース4）保険証を忘れてきたとき （ケース5）紹介状をもっていないとき		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】事例検討 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 ★ケース1～5のまとめ講義 （ケース6）診察の待ち時間についてⅠ・Ⅱ		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】事例検討 【授業形態】演習 【到達目標】 （ケース6）診察の待ち時間についてⅢ （ケース7）電話対応についてⅠ・Ⅱ		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】事例検討 【授業形態】演習 【到達目標】 （ケース7）電話対応についてⅢ・Ⅳ・Ⅴ		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】事例検討 【授業形態】演習 【到達目標】 （ケース8）会計について （ケース9）入院費について （ケース10）室料差額について		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】事例検討 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 （ケース11）入院中の私物の紛失について （ケース12）処方せんの紛失について ★全体のまとめと今後の病院事情について講義		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】事例検討まとめ 【授業形態】演習 【到達目標】 ★定期試験・解答解説を実施		【評価方法について】 評価は出席とレポート提出及び定期試験で行う。 ・小テストは実施ないが、出席8回と毎回のレポート提出で評価（40点）する。 ・定期試験（60点）は筆記で行う。 評価は、学則規程に準ずる。

【特記事項】

科目名（英）	事例検討 (Case Study)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	宮澤　清美
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	3Q 木曜日 3時限

【授業の学習内容と心構え】

都内の病院で長く医事業務を担当した経験から、現場の様々な事例をもとに皆様と一緒に解決策・対処法をディスカッションしていきたい。医療業界に飛び込む上で役立てていけるような演習を通して、学生が主体となって積極的に考察・発言していくことに期待している。
グループでの討議を交えたものも織り込んでいきたい。

【到達目標】

医療業界に就職しても困らない知識・思考力・行動力を身につけ、しっかりとした自分の意見・考えを伝えられるようにする。

【使用教科書・教材・参考書】

スライドと随時資料を配布する

【授業外における学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】オリエンテーション 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 授業の進め方を理解する （ケース1）患者登録の誤り （ケース2）会計の待ち時間について		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】事例検討 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 （ケース3）患者からの質問（医学管理料） （ケース4）患者からの質問（在宅医療管理料） （ケース5）ケース3・4の他医療機関との協議		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】事例検討 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 （ケース6）院外処方箋について （ケース7）退院時処方について （ケース8）療情報提供書についてⅠ		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】事例検討 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 （ケース9）診療情報提供書について		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】事例検討 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 （ケース10）患者からの苦情について 医療安全委員会について		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】事例検討 【授業形態】演習 【到達目標】 （ケース11）会計について （ケース12）入院費について （ケース13）室料差額について		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】事例検討 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 （ケース14）返戻レセプトの処理 （ケース15）再審査請求 ★全体のまとめと今後の病院事情について講義		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】事例検討まとめ 【授業形態】演習 【到達目標】 ★定期試験を実施		

【評価方法について】

小テスト（40点満点）
定期試験（60点満点）

【特記事項】

科目名（英）	システム開発とマネジメント (System development&management)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	竹山 聡
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	講義	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	4Q 木曜日 3・4時限

【授業の学習内容と心構え】

都内の病院で長く医事・経営企画を担当した経験から、医療経営の事例を用いて病院運営の基礎について学習する。
これまで学習してきた内容が、実際に業務で使われてきているかを正しく理解する。

【到達目標】

医療事務職員として病院の経営・背景を知り理解する

【使用教科書・教材・参考書】

「医療現場のお金の話」（メディカ出版）のほか随時スライド・資料を配布する

【授業外における学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】診療報酬のしくみ 【授業形態】講義 【到達目標】 ・病院の収入源である診療報酬のあり方について正しく理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】外来診療報酬 【授業形態】講義 【到達目標】 ・外来の診療報酬ならびに地域連携の概要について理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】入院基本料① 【授業形態】講義 【到達目標】 ・病院の主たる財源である入院基本料について正しく理解する ・小テスト1		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】入院基本料② 【授業形態】講義 【到達目標】 ・施設基準、特に看護配置について概要を確認する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】DPC制度 【授業形態】講義 【到達目標】 ・急性期病院の主たる収入源であるDPC制度及びDPCを用いた経営分析について理解する ・小テスト2		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】行政・第三者機関との関わり 【授業形態】講義 【到達目標】 ・指導監査、審査機関などとの関わりついて理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】医療情報・デジタル化の波 【授業形態】講義 【到達目標】 ・システム監査、内部統制について理解する ・現状の医療情報、これからの病院におけるデジタル化について知識を深める ・小テスト3		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】定期試験・解答解説 【授業形態】講義 【到達目標】		【評価方法について】 評価は筆記試験で行う。筆記試験は、授業で習得した知識の理解度を確認する。小テスト3回（40点）と定期試験（60点）の合計100点満点で評価する。評価は、学則規程に準ずる。

【特記事項】

科目名（英）	企業と経営 (Company and management)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	竹山 聡
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	講義	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	3Q 木曜日 3・4時限

【授業の学習内容と心構え】
都内の病院で長く医事・経営企画を担当した経験から、医療経営の事例を用いて病院運営の基礎について学習する。
社会全体から病院を取り巻く環境、細かな事象を知り、その意味を正しく理解する。

【到達目標】
医療事務職員として病院の経営・背景を知り理解する

【使用教科書・教材・参考書】
「医療現場のお金の話」(メディカ出版)
随時スライド・資料を配布する

【授業外における学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 社会保障費の増大、将来人口推計と深刻な課題 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・オリエンテーション(授業の進め方、全体構成について) ・日本の医療を取りまく状況を理解する。		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】 医療機関の経営難、経営改善の5つの方策 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・病院の経営状況を理解する ・小テスト1		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 病院の人件費のしくみ、在院日数短縮の影響 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・病院の収支の仕組みを理解する ・平均在院日数など病院統計について理解する ・小テスト2		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 入院の収支、看護配置について 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・入院収入の背景にあるものを理解する ・小テスト3		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 消費税の影響、薬剤利益のしくみ 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・病院の財務、会計を理解する ・小テスト4		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 財務諸表、経済・経営の基礎用語 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・財務諸表、会計、経済・経営の用語について理解する ・小テスト5		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 病院経営分析 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・原価計算、定例的な様々な病院指標について理解する ・小テスト6		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】		【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度を確認する。筆記試験では、小テスト6回(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規程に準ずる。

【特記事項】
電卓(スマホの機能でも可能)を使うことがあるので、持参してもらうことがある

科目名（英）	介護報酬 (Nursing Care compensation)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	塩原　俊之
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	講義	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	4Q 木曜日2時限

【授業の学習内容と心構え】
専門学校において10年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、介護保険制度における基本的な知識を習得する授業を行う。

【到達目標】
1. 介護保険制度のしくみについての知識を習得する。
2. 介護報酬請求事務についての知識を習得し、介護レセプトを作成する。

【使用教科書・教材・参考書】
『ケアマネージャー・ケアクラークのための介護サービスコード表』(caps)

【授業外における学習】
授業で習得した内容を復習しておくこと。

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】　介護保険制度 【授業形態】　講義 【到達目標】 1. 介護保険制度の内容について説明できる 制度の歴史、制度のしくみ、保険者と被保険者、認定		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】　居宅サービスの種類 【授業形態】　講義 【到達目標】 1. 介護サービス（居宅サービス）の種類と内容について説明できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】　居宅サービスの単位数算定 【授業形態】　講義 【到達目標】 1. 介護サービス（居宅サービス）の単位数算定ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】　居宅サービスの単位数算定 【授業形態】　講義 【到達目標】 1. 介護サービス（居宅サービス）の単位数算定ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】　地域密着型サービスの単位数算定 【授業形態】　講義 【到達目標】 1. 介護サービス（地域密着型サービス）の単位数算定ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】　単位数算定演習 【授業形態】　講義 【到達目標】 1. 介護サービス（居宅サービス、地域密着型サービス）の算定ができるようになる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】　単位数算定演習 【授業形態】　講義 【到達目標】 1. 介護サービス（居宅サービス、地域密着型サービス）の算定ができるようになる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】　定期試験・解答解説 【授業形態】　講義 【到達目標】 1. 定期試験		【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。

【特記事項】

科目名（英）	コーディング概論 （Introduction to Cording）	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	門馬真樹
学科・コース	IT医療事務総合学科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	15時間（1）	開講区分 曜日・時間	1Q 水曜日　1時限

【授業の学習内容と心構え】

欠席をしないことが基本となる。
診療情報管理士として17年間、大学病院、特定機能病院に勤務し、診療記録の監査、傷病名のコーディング、医療統計等の業務に携わる。また、専門学校教員として各学校で診療情報管理科の科目及び医療系学科で複数の科目を担当してきた。本授業では、死亡診断書による原死因の選択や、主傷病名選択等を指導する。また、がん登録の基本となるICD-Oの基本体系についても網羅する幅広い授業内容となる。

【到達目標】

原死因選択はルールが複雑なため、時間を割いて学び、正確に原死因を選択できることを目標とする。各病院で出す原死因統計が日本の死因の順位を決めることになる

【使用教科書・教材・参考書】

講師作成プリント

【授業外における学習】

自宅学習（プリントの復習）

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】国際疾病分類（ICD）とわが国での利用 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 疾病分類とその意義を理解する。 国際疾病分類（ICD）の使用目的やわが国の人口動態統計を理解する 国際疾病分類（ICD）を利用した統計分類表について理解する		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】「国際疾病分類」誕生までの経緯 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 疾病統計についての歴史を理解する 第1回国際改訂会議から第10回国際改訂会議までの内容の理解 新しい概念（ファミリー）の理解		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 第10回改訂国際疾病分類（ICD-10）の現状 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 大改正、小改正の内容の理解 WHO国際疾病分類（FIC）ネットワークの理解 ICD-10編さんの基準（分類項目の形態・分類の軸・3巻構成） ICD-10の普遍性		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】「ICD-10」を取り巻く国際疾病分類群「ファミリー」 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 関連分類、中心分類、派生分類の理解 「ICF」「ICD-O」の構造の理解 ICD-10とICD-Oの相違の理解 主要病態の選択ルールの理解		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】原死因の選択ルール 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 原死因の定義、死亡診断書の意義、記載上の留意点の理解 原死因の選択ルールおよび修正ルールの使用手順の理解 原死因選択練習問題		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】国際疾病分類（ICD）の実際の利用 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 全3巻構成による「ICD-10」の理解 「内用例示表」と「索引表」の使用方法の理解 複数病態分類、復合病態分類および二重分類の理解		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】「内用例辞表」および「索引表」の役割 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 「内用例示表」「索引表」で用いられる表示記号と符合 国際疾病分類（ICD-10）の使用上の注意点と問題の理解 一貫性のあるコーディング・正確なコーディング・完全性の高いコーディング（副傷病名・併存症・合併症）の理解		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】定期試験、解答解説 【授業形態】定期試験 【到達目標】 定期試験		【評価について】 評価は筆記試験で行う。小テストを40点とし定期試験を60点、合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。

【特記事項】

科目名（英）	分類法演習 （ Taxonomy Lab ）	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	門馬真樹
学科・コース	IT医療事務総合学科	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	4Q 水曜日　1～2時限

【授業の学習内容と心構え】
欠席をしないことが基本である。
診療情報管理士、CCS（クリニカルコーディングスペシャリスト）の資格を持ち大学病院等で17年間勤務した教員が、ICD-10を使用して傷病名等を正確に分類できるよう指導する。昨今のDPCにも対応できるようICD分類の体系とコードを、わかりやすく指導する。

【到達目標】
ICDコードの体系を知り、感染症から耳および乳様突起の疾患まで正確に分類できるようになることを目標にする。

【使用教科書・教材・参考書】
診療情報管理Ⅳ（講師作成プリントで対応）

【授業外における学習】
自宅学習（復習）

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】感染症および寄生虫症 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類	9	【授業単元】呼吸器系の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類
2	【授業単元】新生物 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類	10	【授業単元】消化器系の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類
3	【授業単元】血液および造血器の疾患　並びに免疫機構の障害 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類	11	【授業単元】皮膚および皮下組織の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類
4	【授業単元】内分泌栄養および代謝疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類	12	【授業単元】筋骨格系及び結合組織の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類
5	【授業単元】神経系の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類	13	【授業単元】腎尿路生殖器系の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類
6	【授業単元】眼および付属器の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類	14	【授業単元】妊娠・分娩及び産褥 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類
7	【授業単元】耳および乳様突起の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類	15	【授業単元】定期試験・解答解説 【授業形態】定期試験 【到達目標】 定期試験・解答解説
8	【授業単元】循環器系の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類		

【評価について】
評価は筆記試験で行う。小テストを40点とし、定期試験を60点、合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる

【特記事項】

科目名（英）	医療情報の標準化と活用 (Standardization and inflection of the medical information)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	塩原　俊之
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	30時間（2）	開講区分 曜日・時間	3Q 木曜日　1・2時限

【授業の学習内容と心構え】

専門学校において15年以上教員経験があり、コンピュータシステム開発経験を有する教員が、医療情報の適切な対処ができるようになるための標準化と活用方法について習得する授業を行う。

【到達目標】

1. 医療情報基礎知識検定試験の第7章 医療情報の標準化と活用に関する過去問題が解答できる。

【使用教科書・教材・参考書】

『医療情報の基礎知識』(南江堂)

【授業外における学習】

回	授業概要
1	【授業単元】　医療情報の標準化 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・標準化に対する一般知識について説明できる 標準化の定義、分類、関連組織
2	【授業単元】　医療情報の標準化 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医療情報に関する標準化について説明できる ・医療情報分野の標準化関連組織について説明できる
3	【授業単元】　医療情報の標準化 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・標準化関連組織間の連携について説明できる ・主要な医療情報の規格ー用語・コードを説明できる
4	【授業単元】　医療情報の標準化 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・主要な医療情報の規格ーメッセージ（データ）交換規約について説明できる
5	【授業単元】　医療情報の標準化 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・自動認識技術に関する規格について説明できる
6	【授業単元】　医療情報の標準化 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・過去問題演習 標準化の定義、分類、関連組織
7	【授業単元】　情報の分析と評価 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・データの尺度について説明できる 名義尺度、順序尺度、間隔尺度 ・データ（変数）の性質について説明できる
8	【授業単元】　情報の分析と評価 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・データの図示（グラフ）による記述について説明できる 円グラフ、棒グラフ、積み上げ棒グラフ、帯グラフ 折線グラフ、レーダーチャート、ヒストグラム 箱ひげ図、散布図（相関図）
9	【授業単元】　医療情報の標準化 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・グラフの作成演習
10	【授業単元】　医療情報の標準化 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・グラフの作成演習
11	【授業単元】　医療情報の標準化 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・データの基本統計量（特性値）による記述について説明できる 代表値、散布度、歪度・尖度
12	【授業単元】　医療情報の標準化 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・データの基本統計量（特性値）による記述について説明できる 代表値、散布度、歪度・尖度
13	【授業単元】　医療情報の標準化 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・推測統計学の基礎について説明できる 母集団と標本、推定と予測、仮説検定
14	【授業単元】　医療情報の標準化 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・巨大なデータに対する分析について説明できる
15	【授業単元】　定期試験・解答解説 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・定期試験

【特記事項】

【評価方法について】

評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。

科目名（英）	医療情報 基礎検定対策Ⅰ (Medical information basic knowledge official approval measures Ⅰ)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	岡嶋 由紀
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	3Q 火曜日 2時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医療情報基礎知識検定合格に向けての対策授業を行う。
試験範囲のうち、Ⅰ医療制度と医療関連法規、Ⅱ病院業務と病院の運営管理、Ⅲ医療情報の特性と医療の情報倫理の分野を対象とする。
問題演習を中心に、1年次から2年次前期までに複数の科目にわたり学習してきた内容の整理と定着を目指す。
医療情報基礎知識検定対策Ⅱと併せて、本検定の範囲を網羅する。

【到達目標】

検定問題の出題傾向を知り、効果的な解答方法を習得する。
医療情報基礎知識検定に合格する。

【使用教科書・教材・参考書】

『医療情報の基礎知識　改訂第2版』(南江堂)

【授業外における学習】

繰り返し過去問を解いて、暗記を定着させること

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】 Ⅰ. 医療制度と医療関連法規 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医療関連法規の問題に正答できる ・保険医療福祉制度と行政組織、専門職の問題に正答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】 Ⅰ. 医療制度と医療関連法規 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・保健医療福祉専門職の種類と責務の問題に正答できる ・健康指標と予防医学の問題に正答できる ・救急医療と災害時医療の問題に正答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】 Ⅱ. 病院業務と病院の運営管理 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・病院における診療体制と業務の問題に正答できる ・診療の課程の問題に正答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】 Ⅱ. 病院業務と病院の運営管理 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・病院の運営と管理の問題に正答できる ・安全で適切な医療の問題に正答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】 Ⅲ. 医療情報の特性と医療の情報倫理 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・診療記録の種類と保存期間の問題に正答できる ・医療情報の特性と利用の問題に正答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】 Ⅲ. 医療情報の特性と医療の情報倫理 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医の倫理の問題に正答できる ・医療の情報倫理の問題に正答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】 問題演習と解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間内にⅠ～Ⅲの問題を解き、合格基準を超える解答ができる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 【到達目標】		【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。 授業で習得した専門的な知識の理解度、定着度を確認する。 筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 小テストは、第1回～第7回の計7回行う。 評価は学則規定に準ずる。

【特記事項】

1年次の医療法規、病院管理、医療情報で配布した資料を参照する

科目名（英）	医療情報　基礎検定対策Ⅱ (Medical information basic knowledge official approval measures Ⅱ)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	塩原　俊之
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	15時間（1）	開講区分 曜日・時間	3Q 水曜日　4時限

【授業の学習内容と心構え】

専門学校において10年以上教員経験があり、コンピュータシステム開発経験を有する教員が、医療情報基礎知識検定試験の第4章コンピュータの基礎、第5章情報システムの基盤技術、第6章医療情報システムの構成と機能について、検定対策授業を行う。

【到達目標】

1. 医療情報基礎知識検定試験の過去問題が解答できる。

【使用教科書・教材・参考書】

『医療情報の基礎知識』(南江堂)

【授業外における学習】

回	授業概要	回	授業概要
1	【授業単元】　検定対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医療情報基礎知識検定の過去問題を行い、正解率70%以上で解答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
2	【授業単元】　検定対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医療情報基礎知識検定の過去問題を行い、正解率70%以上で解答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
3	【授業単元】　検定対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医療情報基礎知識検定の過去問題を行い、正解率70%以上で解答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
4	【授業単元】　検定対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医療情報基礎知識検定の過去問題を行い、正解率70%以上で解答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
5	【授業単元】　検定対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医療情報基礎知識検定の過去問題を行い、正解率70%以上で解答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
6	【授業単元】　検定対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医療情報基礎知識検定の過去問題を行い、正解率70%以上で解答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
7	【授業単元】　検定対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 ・医療情報基礎知識検定の過去問題を行い、正解率70%以上で解答できる		【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】
8	【授業単元】　定期試験・解答解説 【授業形態】　講義 【到達目標】 ・定期試験		【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。

【特記事項】

科目名（英）	電子カルテ演習 (Electronic Karte Practice)	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	塩原　俊之
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業形態	演習	総時間（単位）	30時間（２）	開講区分 曜日・時間	1クォーター 水曜日　3・4時限

【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】

専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、医療現場における電子カルテの基本的な知識を習得する授業を行う。

【到達目標】

電子カルテシステムの概要・入力操作を学び、電子カルテ技能検定試験合格を目標とする。

【使用教科書・教材・参考書】

【授業外における学習】

授業で習得した内容を操作テキストで復習しておくこと。

回	授業概要
1	【授業単元】　入力操作 【授業形態】　演習 【到達目標】 1.電子カルテシステムの概要・機能を説明できる 2.電子カルテシステムの入力ができる 権限設定、患者登録、問診票、SOAP、シェーマ
2	【授業単元】　入力操作 【授業形態】　演習 【到達目標】 1.電子カルテシステムの入力ができる 診療内容の入力、Do機能、会計処理 2.外来患者（診療所）の電子カルテが作成できる
3	【授業単元】　オーダー機能 【授業形態】　演習 【到達目標】 1.外来患者（病院）における電子カルテの作成ができる。 2.オーダリング機能の入力ができる。 エックス線（単純・造影剤使用）撮影、内視鏡検査、処方
4	【授業単元】　オーダー機能 【授業形態】　演習 【到達目標】 1.外来患者（病院）の電子カルテが作成できる
5	【授業単元】　検定試験対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 1.　第１６回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる
6	【授業単元】　検定試験対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 1.　第１７回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる
7	【授業単元】　検定試験対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 1.　第１８回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる
8	【授業単元】　検定試験対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 1.　第１９回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる
9	【授業単元】　検定試験対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 1.　第２０回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる
10	【授業単元】　検定試験対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 1.　第２２回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる
11	【授業単元】　検定試験対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 1.　第２３回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる
12	【授業単元】　検定試験対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 1.　第２４回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる
13	【授業単元】　検定試験対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 1.　第２５回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる
14	【授業単元】　検定試験対策 【授業形態】　演習 【到達目標】 1.　第２６回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる
15	【授業単元】　定期試験 、解答解説 【授業形態】 【到達目標】 ・定期試験

【評価方法について】

評価は、演習試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。演習試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。

【特記事項】